

■アフターサービス

故障かな?と思ったら...
修理をご依頼される前に、下記の記事を確認してください。
下記の方法でも解決できない場合は「保証規定(無償修理及び盗難・火災補償)」をご確認の上、シンワサービスセンター宛にご連絡ください。

トラブル状況	確認事項
レーザー光が出ない	●電池はあるか? →新しい電池を入れてください ●電池の入れ方は正しいか? →+を間違えていないか確認
衝撃を与えてしまった	■使用前の点検(精度確認)を行ってください

Shinwa Service System シンワサービスシステム

修理や検査はシンワサービスセンターにフリーコール(TEL又はFAX)でご依頼ください。ヤマト運輸が引き取りに伺います。



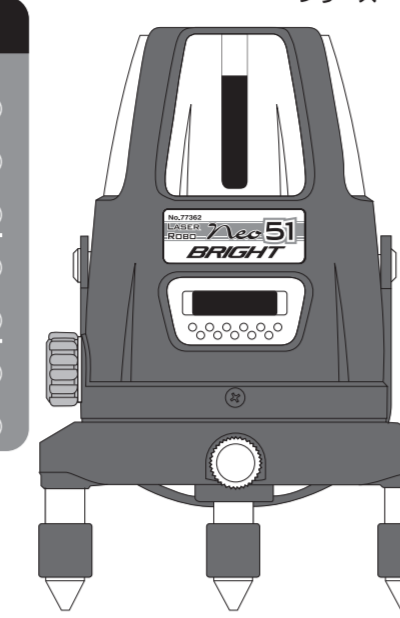
レーザー機器専用窓口
シンワ測定株式会社
〒659-1278 兵庫県神戸市小池3485番地
FAX 0120-305144
URL: http://www.shinwasokutei.co.jp
受付時間 AM 8:30~PM 5:00 土日祭日除く

レーザー墨出し器 取扱説明書

LASERROBO レーザーロボ ネオ ブライト
Neo BRIGHT シリーズ

対象機種

- Neo51 BRIGHT (※77362)
- Neo41 BRIGHT (※77361)
- Neo31 BRIGHT (※77360)
- Neo21P BRIGHT (※77355)
- Neo21 BRIGHT (※77354)
- Neo11P BRIGHT (※77353)
- Neo01 BRIGHT (※77388)



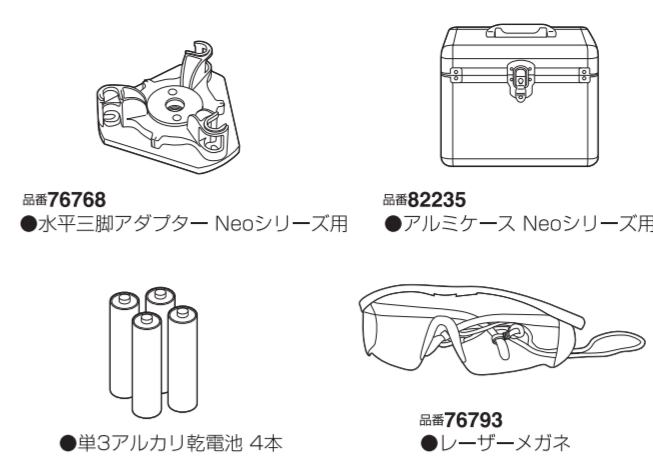
この取扱説明書は必ず保管してください。

■仕様

品番	77362	77361	77360	77355	77354	77389	77388
機種	Neo51 BRIGHT	Neo41 BRIGHT	Neo31 BRIGHT	Neo21P BRIGHT	Neo21 BRIGHT	Neo11P BRIGHT	Neo01 BRIGHT
光源	可視半導体レーザー						
出力	1mW以下 (JISクラス2)						
波長	635nm (下部スポート650nm)						
指示精度	3mで±1mm			7.5mで±1mm			
鉛直精度	3mで±1mm						
直角精度	90° ±0.03°						
通り芯精度	7.5mで±1mm						
縦ライン/射出角	約130°						
横ライン/射出角	約120°						
ライン光幅	5mで約1.5mm (7.5mで約2mm)						
自動補正範囲	±2.5°						
傾斜時警告	自動補正範囲を超えるとレーザー光が点滅(約1秒間隔)						
回転調整範囲	約5° (5mで約500mm)						
駆動方式	磁気駆動						
電源	単3アルカリ乾電池 4本						
可達距離	横: 約58時間						
使用時間	モード① 正面縦線+地盤: 約24時間						
モード②	正面縦線+地盤+天盤+天盤+天盤						
モード③	全線+地盤: 約12時間						
モード④	全線+地盤: 約16時間						
モード⑤	全線+地盤+天盤: 約37時間						
モード⑥	全線+地盤+天盤: 約37時間						
モード⑦	全線+地盤+天盤: 約58時間						
電池消費警告	スイッチON時にレーザー光が約8秒間点滅(約0.5秒間隔)						
最大到達距離	約35m (レーザーレシーバー使用時)						
防護・防水構造	保護等級 IP54 (※防じん型・防まづ型)						
本体サイズ	直径128mm×高さ180mm (ボタニ部φ94mm)						
製品質量	約1.215g (電池含)	約1.210g (電池含)	約1.200g (電池含)	約1.195g (電池含)	約1.190g (電池含)	約1.150g (電池含)	約1.140g (電池含)

*防じん型: 粉塵が内部に侵入する事を防止する。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しない。防まづ型: いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。

■付属品



●#76768 水平三脚アダプター Neoシリーズ用
●#82235 アルミケース Neoシリーズ用



●#76793 レーザーメガネ
●#76629 三脚ハンドルスレールタイプ



●#76636 晴天用ホルダー レーザーロボ用
●#76650 受光器 レーザーレシーバーホルダー付
●#76923 晴天用ホルダー 上下可動式 レーザーロボ用
●#77094 受光器 レーザーレシーバー Fine ホルダー付 (防じん・防まづ型IP56)

■水平三脚アダプターの使い方

- ①水平調整三脚アダプターを三脚のネジに入れて取り出し、しっかりと固定します。
- ②三脚を使用する場所・使用する高さに合わせてセットします。
- ③水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをFREEの位置に合わせます。
- ④ポットにレーザーロボ Neo BRIGHTの脚を乗せます。
- ⑤水平調整三脚アダプターの回転フックを回転させ、インジケーターをLOCKの位置に合わせます。
- ⑥カチッという音がして、回転フックがレーザーロボ Neo BRIGHTの脚を固定します。
- ⑦レーザーロボ Neo BRIGHT本体の水平調整は、レーザーロボ Neo BRIGHTの水平調整器で行えます。円窓内の気泡が赤い円内に入るように水平調整器で調整し、本体の水平出しを行ってください。

△注意

- ケガやレーザー墨出し器の故障の原因となります。
- レーザーロボ Neo BRIGHTの指定は確実に行ってください。
 - 三脚にセットしたままレーザーロボ Neo BRIGHTを持ち上げないでください。
 - 三脚は壊れないようにセットしてください。

はじめに

シンワ「レーザーロボ Neo BRIGHT シリーズ」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。この製品お使い頂く前に、この取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後も大切に保管してください。

製品梱包に貼付されている「保証規定(無償修理及び盗難・火災補償)」を良くお読みの上「ユーザー登録カード」にお買い上げ各名の記入がある事を確認し、必要事項を記入して「ユーザー登録カード(郵送用)」をポストへ投入してください。「保証規定(無償修理及び盗難・火災補償)」と「ユーザー登録カード(お客様(控))」は大切に保管してください。ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

特長

- 縦ライン・横ライン・地盤ポイントをレーザー光で照射します。
- ラインの明るさは従来品のおよそ2倍です。(当社比)
- 防塵・防水構造(保護等級IP54)のため、粉塵や水の飛沫による故障の心配がありません。
- 付属の水平調整三脚アダプターを使用することで、三脚への取り付けが簡単で、三脚に取り付けた状態でも本体の水平出しが可能になります。
- 2.5°以内の傾きなら自動補正されます。(自動補正範囲を超えるとレーザー光が点滅)
- 専用のレーザーレシーバーを使用することで、屋外等のレーザー光が見えにくい場所での使用も可能になります。
- 過剰な明るさのレーザー発光を抑える保護回路搭載で安心です。

△保管・運搬時のご注意

- ①絶対に分解しないでください。故障・感電の原因となります。
- ②本器を持ち運ぶ時やご使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。OFFにする事で自動補正機構が同時にロックされます。
- ③使用後は水平調整器をいっばいまでねじ込んでください。緩めすぎると、調整機構が壊れる恐れがあります。
- ④本器は精密機器です。落下したり衝撃を与えたりしないでください。
- ⑤本器は精密機器のためお客様の方での分解・改造をしないでください。性能や寿命を劣化させる原因にもなり、保証できません。
- ⑥長時間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。

△使用上のご注意

- ①本器は防塵・防塵設計になっていますがレーザー照射口に水滴・ホコリ等が付着するとラインを正確に照射できなくなります。レーザーレシーバーが正確に反応しない場合があります。柔らかい布などでキレイに拭き取ってからご使用ください。
- ②電源スイッチはON/OFFまで確実に回してください。
- ③直射日光の当たる場所や高温(40℃超)となる場所では、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。
- ④水平出しした状態で電源スイッチをONにした時にレーザー光が約8秒間点滅したら電池寿命です。単3アルカリ乾電池4本を同時に交換してください。
- ⑤レーザーレシーバーは使用範囲内でご使用ください。使用範囲外ですと誤作動を起こす可能性があります。また、受光部のガラスが汚れていると誤作動起こす可能性があります。柔らかい布などでキレイに拭き取ってからご使用ください。

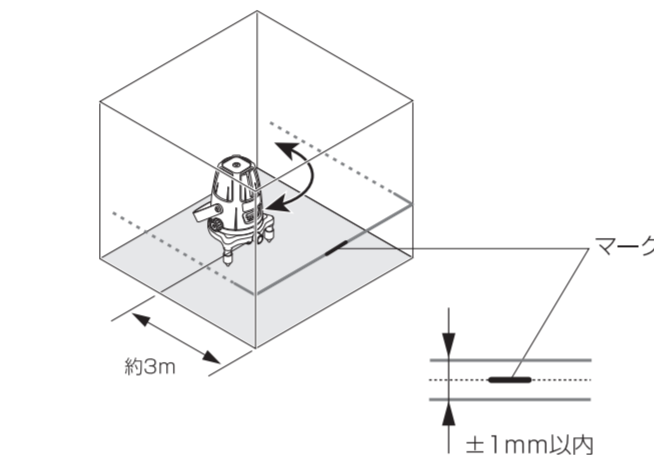
未永くご利用いただくために

シンワ「レーザーロボ Neo BRIGHT」は精密機器です。精度維持および未永くご使用頂くために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検(有料)をご依頼くださる事をお勧めします。

■使用前の点検(精度確認)

- 横ライン(さく)の点検
 - ①振動の無い、できるだけ平らな場所を選びます。
 - ②本体を壁面から約3mの所に置き、水平出しを行います。
 - ③電源スイッチをONにし、スイッチパネルの①を押し、①モードに設定します。
 - ④壁面に向けて照射し、中心付近のレーザー光に合わせてマークを付けます。
 - ⑤本体を左右に回して、ラインの高さとマークの位置にズレがないか確認します。
 - ⑥ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。

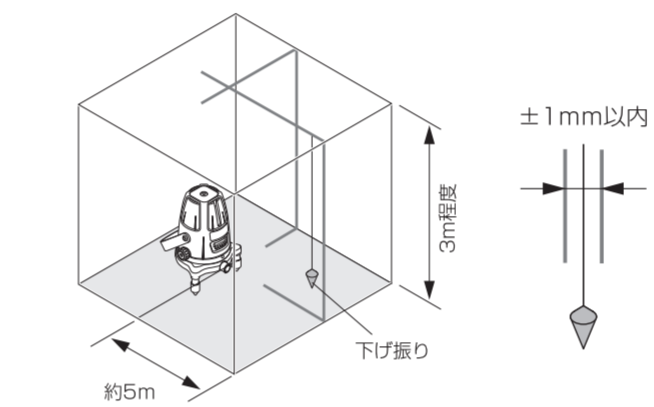
*許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



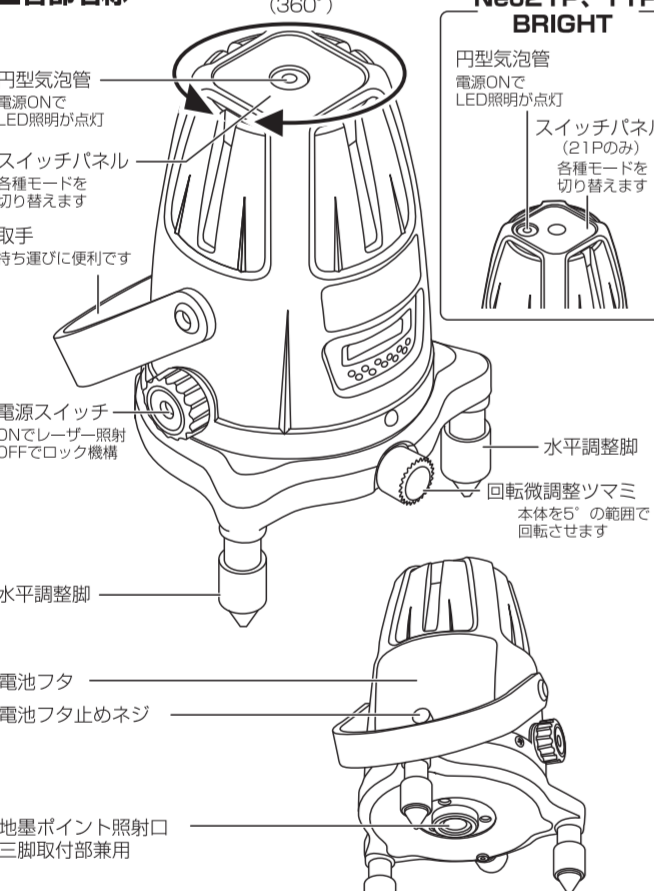
●縦ライン(たち)の点検

- ①天井が3m程度の高さで振動の無い、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約5mの所に置き、水平出しを行います。
- ③お手持ちの下げ振りを天井にセットします。
- ④電源スイッチをONにし、スイッチパネルの②を押し、②モードに設定します。
- ⑤壁面に向けて照射し、レーザー光を下げ振りの糸に合わせます。
- ⑥下げ振りの糸とレーザーラインの鉛直にズレがないか確認します。
- ⑦ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。

*許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。

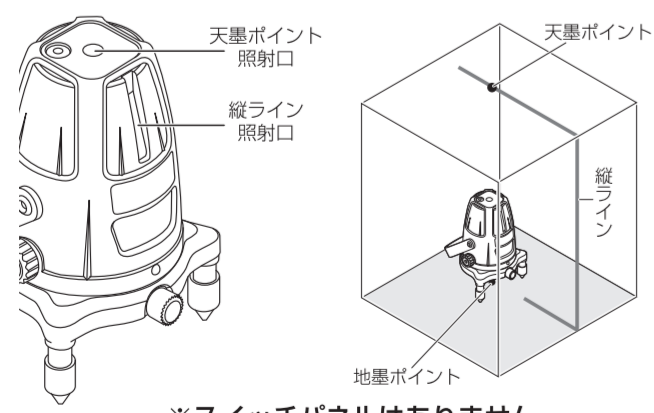


■各部名称



■Neo11P BRIGHT

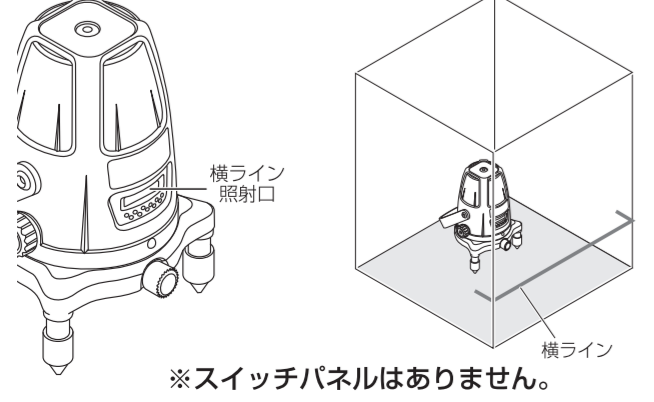
縦・天盤・地盤



※スイッチパネルはありません。

■Neo01 BRIGHT

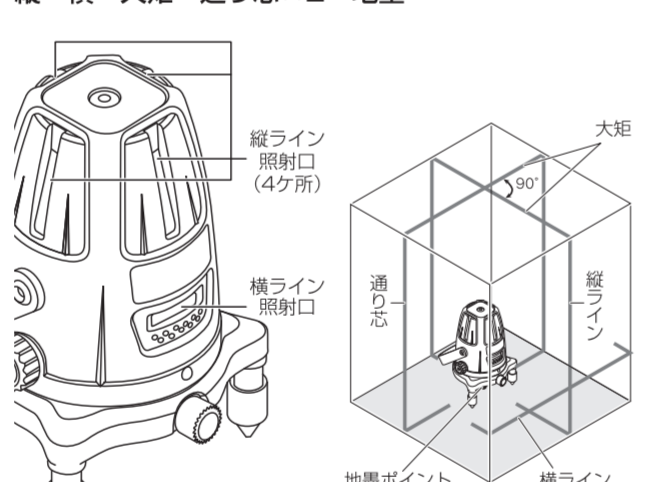
横



※スイッチパネルはありません。

■Neo51 BRIGHT

縦・横・大矩・通り芯×2・地盤

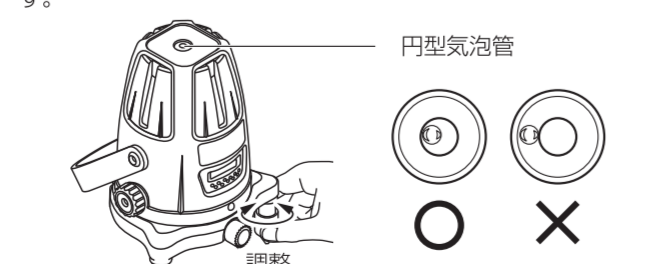


●スイッチパネル

- それぞれのスイッチを押す事で、レーザー照射モードを切り替えられます。
- ① モード
 - ② 横ライン
 - ③ モード
- 正面縦ライン+横ライン+地盤
→フルモード ※スイッチ長押し
→縦ライン×4本+横ライン+地盤
→モード
→縦ライン×4本+地盤

■使用方法

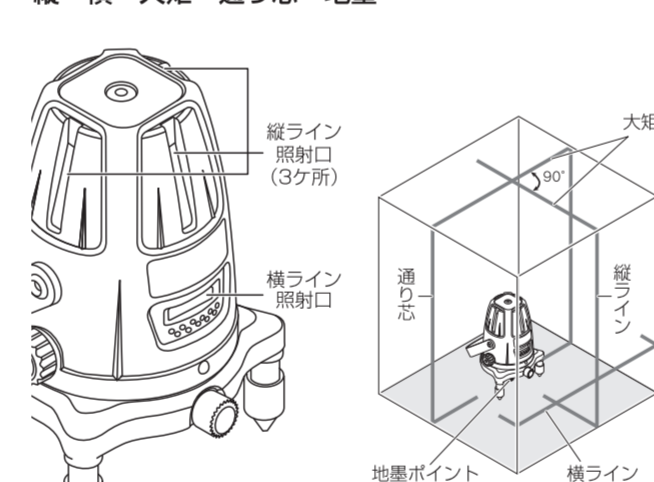
- ①電池フタ止めネジをゆるめて電池フタを開き、単3アルカリ乾電池を4本、正しく入れてください。電池フタ止めネジはしっかりと締めてください。
 - ②円型気泡管の気泡が赤い円内に入るように、水平調整器で調整し、本体の水平出しを行ってください。
- *気泡全体が赤い円内に入れば、円の中心でなくても自動補正機構が働きます。



- ③電源スイッチを回してONにしてください。自動補正機構のロックが解除され、横ラインレーザー光が照射されます。(円型気泡管のLED照明が点灯します。)
- ④スイッチパネルで、使用するレーザー照射モードを選択してください。

■Neo41 BRIGHT

縦・横・大矩・通り芯・地盤



●スイッチパネル

- それぞれのスイッチを押す事で、レーザー照射モードを切り替えられます。
- ① モード
 - ② 横ライン
 - ③ モード
- 正面縦ライン+横ライン+地盤
→フルモード ※スイッチ長押し
→縦ライン×3本+横ライン+地盤
→モード
→縦ライン×3本+地盤

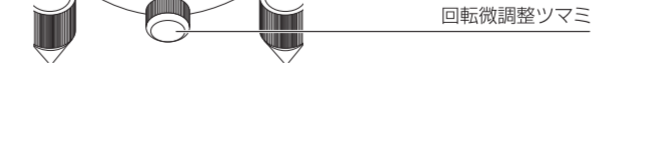
●電池消費警告機能

電池残量がわずかになると電源スイッチON時にレーザー光が点滅します。電池寿命です。単3アルカリ乾電池を4本同時に交換してください。(点滅は約8秒間隔で止まります。しばらくの間はそのまますべて使用してください。)

※受光器 レーザーレシーバーを使用する事で、半径約2.5~35mの範囲での墨出しが可能になります。

●回転調整機構

回転調整つまみを回す事で、本体の角度を約5°(5mで約500mm)の範囲で微調整できます。



△警告

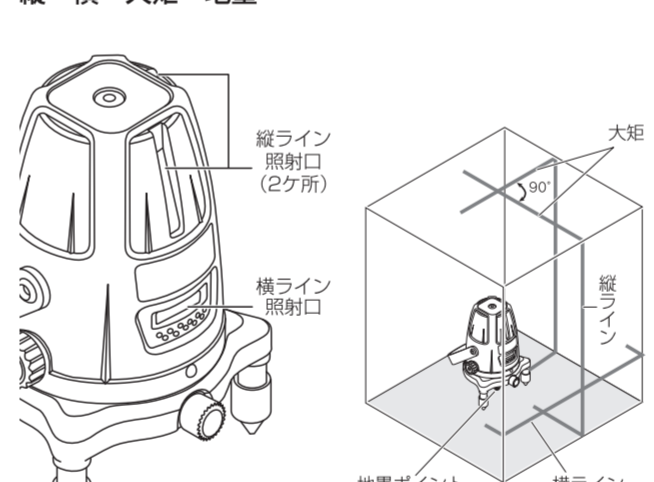
- レーザー光を直接のぞきまなでください。
- レーザーメガネをかけても、レーザー光を直接のぞきまなでください。
- レーザー光を他の人に向けしないでください。
- レーザー光路は頭の高さを避けてください。

レーザーメガネはレーザー光を見やすくする物で、目を保護する物ではありません。

※専用のエレベーター三脚を使用すると、横ラインの高さ調整ができます。

■Neo31 BRIGHT

縦・横・大矩・通り芯・地盤

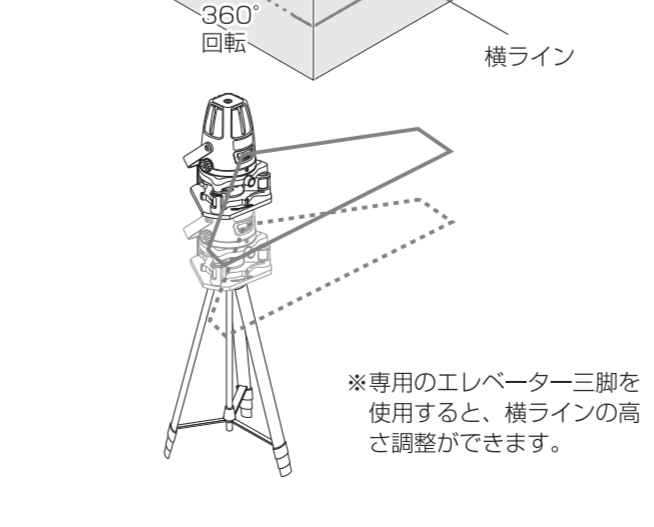
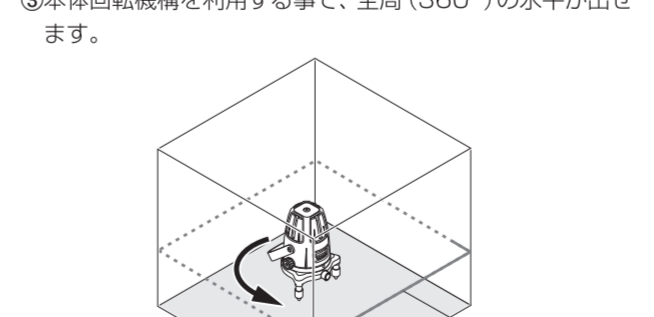


●スイッチパネル

- それぞれのスイッチを押す事で、レーザー照射モードを切り替えられます。
- ① モード
 - ② 横ライン
 - ③ モード
- 正面縦ライン+横ライン+地盤
→フルモード ※スイッチ長押し
→縦ライン×2本+横ライン+地盤
→モード
→縦ライン×2本+地盤

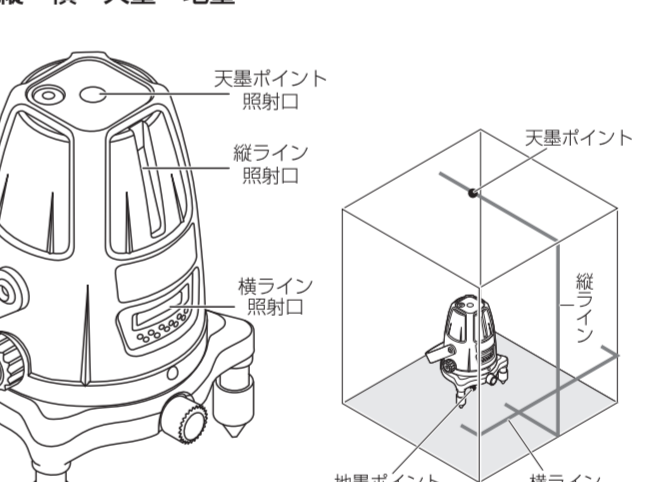
① モードの使用方法

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにして①モードになり、横ラインが照射されます。
- ③本体回転機構を利用する事で、全周(360°)の水平が出せます。



■Neo21P BRIGHT

縦・横・大矩・地盤

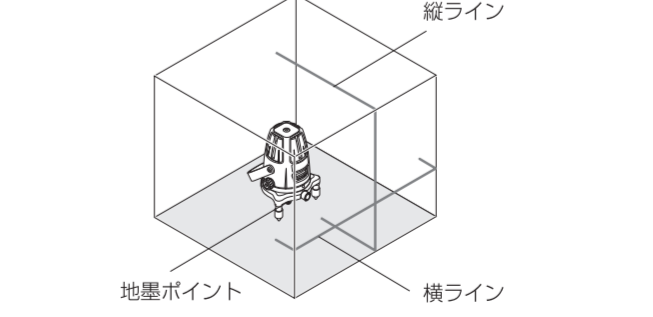


●スイッチパネル

- それぞれのスイッチを押す事で、レーザー照射モードを切り替えられます。
- ① モード
 - ② 横ライン
 - ③ モード
- 縦ライン+横ライン+地盤
→フルモード ※スイッチ長押し
→縦ライン+横ライン+地盤+天盤
→モード
→縦ライン+地盤+天盤

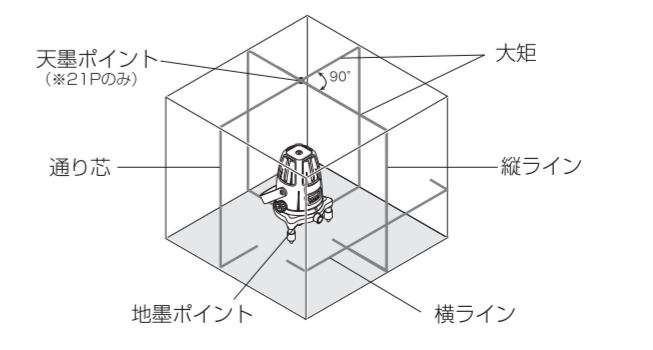
② モードの使用方法

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにしてスイッチパネルの②を押すと、正面縦ライン・横ライン・地盤ポイントが照射されます。



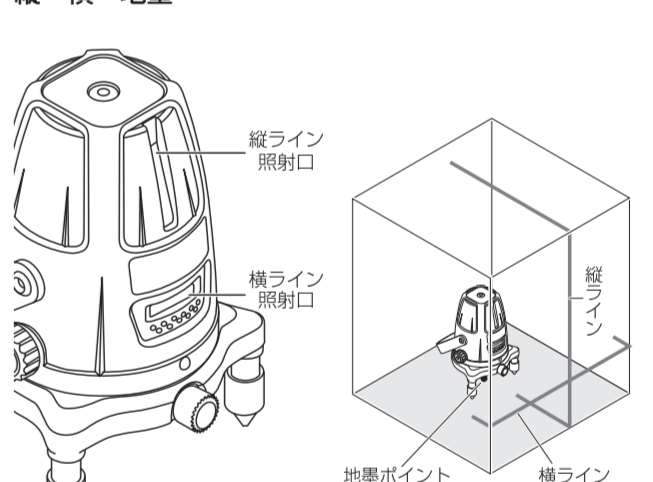
③ フルモードの使用方法 (51, 41, 31, 21Pのみ)

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにしてスイッチパネルの③を押すと、1秒間以上長押しすると、全ての縦ライン・横ライン・地盤ポイント(天盤ポイント※21Pのみ)が照射されます。



■Neo21 BRIGHT

縦・横・地盤

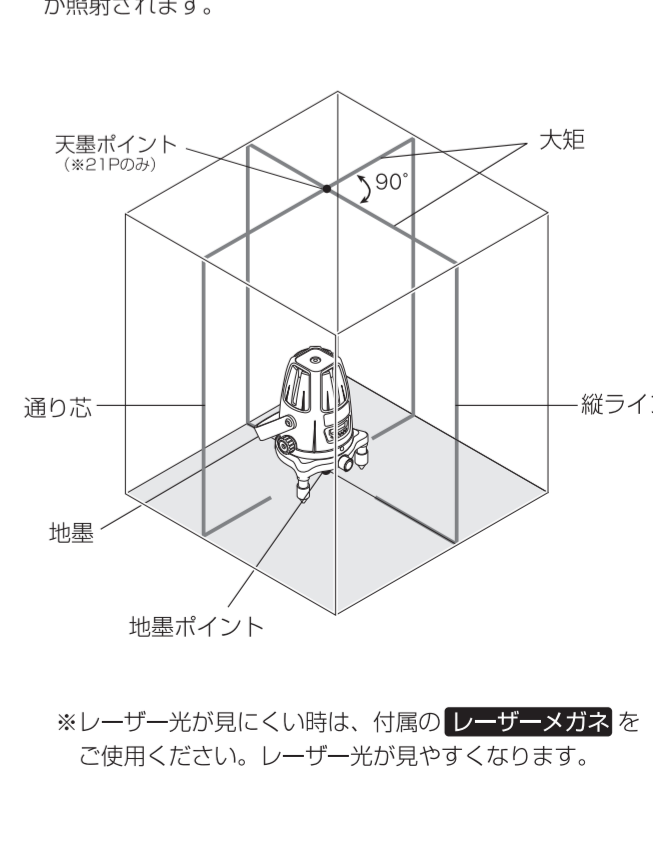


●スイッチパネル

- それぞれのスイッチを押す事で、レーザー照射モードを切り替えられます。
- ① モード
 - ② 横ライン
 - ③ モード
- 縦ライン+横ライン+地盤
→モード
→縦ライン+地盤

③ モードの使用方法

- ①本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ②電源スイッチをONにしてスイッチパネルの③を押すと、全ての縦ライン・横ライン・地盤ポイント(天盤ポイント※21Pのみ)が照射されます。



※レーザー光が見にくい時は、付属のレーザーメガネをご使用ください。レーザー光が見やすくなります。